

でらいとわーくジュニアにおける自己評価結果

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・実施状況・工夫している点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			法律に沿った広いスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	○			お子さまお一人お一人に支援が行き届くよう職員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		建物が古いので、入り口やエレベータがバリアフリーとは言えませんが、事業所内は人工芝を敷くなどして段差のないスペースづくりをしています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			自由に意見が言える雰囲気づくりを管理者がおこない、ミーティングも随時行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			年一回のアンケートを実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			第三者評価はホームページに記載しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			不定期に、内部・外部講師による勉強会を開催しています。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			契約時のアセスメント以外に、随時、子どもと保護者のニーズを日々の提供記録や不定期の面談で把握し、計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントシートは標準化されたものを使用していますが、障がい程度に合わせたツールを使うこともあります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			定期的な打ち合わせでプログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			プログラム後にアンケート等を行い、固定化しないよう工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			その時々的情勢や状況、季節を考えて課題を設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○		集団が苦手なお子さんもいるので、その子にあった計画を立てています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			支援が個々人に満遍なくいきわたるよう、役割分担をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			気づいたことは振り返りをおこない、全職員で共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			業務日報のほかに、教室での様子の記載も行っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に一度モニタリングを行い、見直しを行っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			可能な限り行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者が出席しています。状況に応じて児童指導員や支援員が参画します。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている		○		お子さんと保護者の承諾のもと、学校との連携を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			現在、対象となる子どもはいませんが、研修等で体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		数人ですが、情報共有しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			保護者の同意のもと、提供しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			積極的に研修を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	現段階では考えていません。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や、適宜面談等で課題を共有しています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		検討中です。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に時間をかけて丁寧に行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	検討しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			対応マニュアルを作成し、マニュアルをもとに適切に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			2か月に一度「じゅにお通信」を発行しています。ブログも随時、UPしています。
	35	個人情報に十分注意している	○			施錠をし、管理しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			電話や手紙、メール等あらゆる手段での配慮をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			現在は行っていませんが、地域清掃ボランティアと称し、地域活動への参画をはじめています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			作成し、周知しています。
非 常 時 等 の 対 応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			消防署に避難計画を提出の上、年2回の訓練を行っています。訓練の結果及び状況は消防署に提出しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待チェックリストの実施、および毎月の会議で必ず議題にあげています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			現在、強度行動障害のお子さんの利用はありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			定期的に保護者からの聞き取りをしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			安全衛生の観点から、ヒヤリハット点検等を行っています。